



知られざる

## ランチェスター先生の経歴

【マル秘メルマガ】より 21 通目その 1

### ◆ 航空機に関心を示す

1892 年と 1893 年の間 (25 歳の頃) 兄は空気より重い機械が大気中を飛ぶことに関してとても熱心に勉強し、後ほど話をする理論を作りあげていった。

もし最初の動く物体が、その当時に知られていたどのモーターよりもより軽く作ることが出来るならば、空中飛行は必ずうまくいくであろうと兄は確信していた。

これに対する希望を満足させるために、航空機用エンジンの開発に関して、政府から資金の援助を受けるのにどうしたらよいか、D・クラークに相談をした。

しかし、クラークのアドバイスは、あまり希望のもてるものではなかった。そして彼は次のようにいった。

『ランチェスター君の言うことはよく分かるが、君はまだ若いし、世間の評判のことも考えないといけないよ。海のものとも山のものとも分からないものに力を入れ過ぎると、今の素晴らしい技術者としての評判を落としてしまうよ。』

### ◆ 自動車用エンジンの研究を始める

このアドバイスに応じて、兄は航空機エンジンへの踏み台として、自動車用のエンジンに関心を変えた。

そして兄は自動車用エンジンの方に積極的に身を入れ、自動車技術業界ではその名前がよく知られる所となった。

車に対する初期の考えはフランスやドイツを見学して回り、大陸での知識を身につけたあとに形成された。

当時、フランスやドイツでは道路を走る機械に関する法律上の制限は全くなく、イギリスよりも 7~8 年進んでいた。

しかし兄が出した結論は、根本的な問題に対しては誰も深く追求していないということだった。

兄が見て来た大陸での全ての設計は自動車、オートバイ、エンジン共に、未完成なものであった。

その時から兄は、今まで自分が目で見ただのものには全く影響を受けないで仕事を始めた。

兄の最初の車は 1894 年から 1895 年に設計された。それは今までの先例とは何の関係もなく、自分自身の完全なオリジナルであった。と同時にそれは今日実用化されている車に何らかの影響を与えている、いくつもの特徴をもっていた。

殆どのコンポーネントはランチェスター自身の作業場で作られたが、設備の不充分さでどうしても自分で作ることができないようなパーツ類は、兄の監督のもとにバーガー氏のガスエンジン会社で作られた。

(続く)

ランチェスター経営 (株)



〒810-0012 福岡市中央区白金 1-1-8 チュリス薬院 301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>